

授業計画書(シラバス)

教科名	コールドワーク I	曜日 時間	火曜日 9:10~15:50	担当者名	イーリ・スヒー
-----	-----------	----------	-------------------	------	---------

		前期指導案		後期指導案	
（年間7授業日）	4月	16 23		10月	1 8 15 22 29
	5月	7 14 21 28		11月	5 12 19 26
	6月	4 11 25		12月	3 10 17
	7月	2 9 16		1月	14 21 28
	9月			2月	
方授業	(講義 ● 実技)			(講義 ● 実技)	
授業内容	<p>A. 板ガラスに様々な模様や形のカットを施す</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイドライン、下書きを書く 2. 模様のカット 3. 表面加工 - カットした部分の研磨 4. 作品のクオリティー調整 <p>課題: コントラスト</p> <p>B. 瓶から飲用グラスの制作</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大型切断機でのカット 2. 平盤での研磨 3. 瓶底の研磨 6. ガイドライン、下書きを書く(割り出し器の使い方) <p>C. 7x7x7cmのガラスキューブの作成-平ら出し</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大型切断機でのカット 2. 平盤での研磨 3. 角のカット、面取り 4. 仕上げ 5. 研磨 <p>これまでに習った技術を組み合わせた作品作り</p> <p>D. ガラスの接着</p> <p>必要なもの: 瓶5~10本、約200x200x5mmの板ガラス5~10枚、ホットショップ で作成したキューブ</p> <p>講評日: 7月16日</p>			<p>題目: 完璧さと狂気さ</p> <p>課題: 吹きガラスにカット模様を施す</p> <p>着想: 平穏と情熱の探究</p> <p>基本的な制作手順:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ホットショップ での吹きガラス制作 2. 好きなコールドの技術を使いカットや研磨を施す <p>ウォーターサンダー機の使用方法</p> <p>講評日: 1月28日</p>	
目到達	ガラスの特性の理解。コールドガラスの基礎技術を学ぶ。ガラスの安全な扱い方を学ぶ。			コールド技術の向上と発展に注力する。より高いレベルの作品の質と制作意図を追求する。	
基準成績評	オリジナリティー、課題制作過程におけるコミュニケーション、作品の精度と品質の追求、忍耐力、時間管理			オリジナリティー、課題制作過程におけるコミュニケーション、作品の精度と品質の追求、忍耐力、時間管理	
事項留意	各作業ステップを丁寧に実行し、相談する。			各作業ステップを丁寧に実行し、相談する。	